

# 令和5年度 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

## 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会調査会 会議録

- 1 開催日時 令和5年9月26日（火） 午後2時～午後3時
- 2 開催場所 花巻市石鳥谷町八幡第4地割161番地  
花巻市石鳥谷総合支所 3-2・3-3会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 4名  
中村良幸委員長（花巻市文化財保護審議会委員）  
中嶋奈津子副委員長（佛教大学非常勤講師、日本民俗学会会員）  
菊池康一委員（早池峰岳流石鳩岡神楽保存会長）  
吉田隆一委員（早池峰大償流土沢神楽保存会長）
  - (2) 映像記録撮影業務受託者 1名  
阿部武司（東北文化財映像研究所所長）
  - (3) 事務局（教育部文化財課）3名  
鈴森直明課長、伊藤真紀子課長補佐、佐々木勝也文化財係長
- 4 議 題
  - (1) 令和5年度事業について  
撮影演目や撮影日の確認・調整について
- 5 議 事 録
  - (1) 開会（進行：佐々木係長）

お疲れ様です。本日は今年度の調査委員会の調査会として皆様にお集まりいただきました。委員全員参加による調査委員会ではなく、調査会としまして事業の進め方や確認等を行いたく、調査委員会の中村委員長と中嶋副委員長、石鳩岡神楽の菊池会長、土沢神楽の吉田会長にお集まりをいただいた次

第です。また、あわせまして映像記録撮影を行っている東北文化財映像研究所の阿部所長にもご出席をいただいております。皆様ご多忙のところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

申し遅れましたが、私は今年度の人事異動により文化財課文化財係長に着任しました佐々木勝也と申します。この調査委員会の担当を務めさせていただきますので、今後どうぞよろしく願いいたします。

それではただいまから、令和5年度記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会調査会を開会いたします。

## (2) 挨拶

(鈴森課長)

本日はお忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。前回3月20日に本委員会を開催させていただきました。その席の中で両会長さんからは、映像記録保存については全面的に協力しますよという力強いお言葉をいただいております。その中で、日にちを設定して、まとめて撮影する機会を設けたほうがいいのかというようなアドバイスも頂戴してございます。

本日は東北文化財映像研究所の所長さんにもご出席いただいておりますので、本日につきましては、どの演目を映像として残していくのか、撮影の日時あるいは場所、そして回数等々を中村委員、それから中嶋委員のアドバイスを頂戴しながら決めていければいいのかなと思ってございます。

本事業につきましては、今年度が最終年度でもありますので、可能な限り数多くの映像を残していきたいと思っておりますので、お力添えをどうぞよろしく願いしたいと思っております。

(佐々木係長)

次第3.協議です。協議の進行につきましては本調査委員会設置要綱第4条第2項の定めによりまして、委員長をお願いしたいと思います。中村委員長よろしく願いいたします。

(3) 協議 (議長：中村委員長)

(中村委員長)

今日は協議事項が一つということですので、令和5年度事業について、撮影演目や撮影日の確認・調整について事務局の方からお願いします。

(佐々木係長)

説明いたします。初めに本日の配布資料の確認をさせていただきたいと思います。お持ちいただいた資料、上から次第、2枚目に調査会の出席者名簿、3枚目に本調査委員会の設置要綱、こちらは裏面にも印刷しているものになります。次に協議の資料としまして、資料No.1石鳩岡神楽・土沢神楽演目の撮影実績(令和4年度まで)という資料になっております。資料No.2は、石鳩岡神楽・土沢神楽伝承・活用等事業計画書。続きまして、最後に資料No.3として、石鳩岡神楽・土沢神楽調査事業に係る経過ということで配付をさせていただいておりますので、ご確認お願いいたします。

それでは初めに資料No.1をご覧くださいと思います。こちらは令和4年度までの撮影実績の一覧表となっており、今年3月の調査委員会で配布したものととなっております。なお、3月の委員会での指摘を受けまして、例えば水無月の撮影団体の誤りなど一部修正をしたものとしております。

撮影済みの演目については、その日付と行事名を記入しております。従いまして丸がついていますけれど、右側が空欄となっている部分が未撮影の演目となっております。

一覧の2ページ目をご覧くださいと思います。計と書いております欄がありますが、演目について石鳩岡神楽さんが撮影する演目43に対して、現在22が撮影済みとなっており、習俗については合計の数の記載はありませんが現在8つの習俗が撮影済みとなっております。

土沢神楽さんについては、演目44に対して撮影済みが16、習俗については4つが撮影済みといった状況です。

次に資料No.2をご覧くださいと思います。こちらは事業計画書となっておりまして、本日はこちら参考資料となります。これまでの調査委員会でもお配りしているものと同じものです。

2ページ目の(5)年度別撮影計画の④のところ令和5年度の計画となっております。今年度は課長の挨拶にもありました通り事業の最終年度とな

っており、これまでに撮影記録をすることができなかった演目を公民館等で4時間程度収録すると計画をしている状況です。

次に資料No.3をご覧いただきたいと思います。本日までにおける石嶋岡神楽・土沢神楽調査事業に係る経過を記載しているものとなります。こちらも本日は参考資料までとなります。委員の皆様到最后にお配りして以降、令和4年度から今日までの経過を追加で記入してございます。具体には、3ページ目の中段から下の部分、R4. 4. 1からの経過を追加して本日お配りしております。

それでは本日の協議の内容のご説明となりますが、令和5年度事業について撮影演目や撮影日の確認・調整についてということでご協議いただきたいと存じます。

協議の前に、3月の調査委員会を開催して以降、今年度最初の調査委員会を遅くとも5月頃までには開催して、今年度の取り組みを調整するべきでありましたけれども、月日が経過しまして本日9月の開催となってしまいましたことをお詫び申し上げたいと思います。

この間、両神楽団体さんと映像記録撮影を行う阿部所長様との間で連絡調整を図り撮影いただいている演目もあることかと思いますが、事務局として把握ができていないところもありまして、誠に申し訳なく存じます。本日は、今日までの撮影記録の状況などもお話いただければ幸いです。

それでは再度資料No.1をご覧いただきますようお願いいたします。これまでの調査委員会でもご意見をいただきました通り、今年度一年間でまだ撮影を行っていない演目の全てを撮影するというのは、正直なところ難しいのかと思います。そうなった場合にこれだけは撮りたい、記録として残していきたい、そういった演目を選択いただき、かつそれに優先順位をつけるなどして、最低限その分は撮影を行うように、どの演目を撮影していくかというところをご協議いただきたいと存じます。

ご確認する意味でご協議の初めは、残りのこの全ての撮影ができるかどうかということから、今一度ご協議いただければと思います。

あと撮影演目を選択いただきますのとあわせまして、その撮影について具体的にいつ頃の収録が可能かどうか、収録する場所についても公民館で行うかなど日程のスケジュールもご協議いただきたいと存じます。

撮影演目について残り全部が可能かどうか、難しい場合はどれを選択するのか、また撮影日と場所はどのような計画とするのか、こちらについて、よろしくご協議賜りますようお願いいたします。

(中村委員長)

今、事務局の方から説明をいただきましたけれども、この資料No.3は漏れているものがあるということですか。

(佐々木係長)

経過については漏れているものはないかと思います。最後に委員の皆様にお配りしていたものが令和3年度までの経過の部分まででしたので、そこに昨年度と今年度の今日までの経過を追加で記入した上で配布させていただいております。

(中村委員長)

阿部さんに聞きたいというものは何ですか。

(佐々木係長)

今日来ていただきまして、具体的に協議の中で撮影の日程などを調整いただきたいということです。

(中村委員長)

わかりました。それでは今まで撮影してきた実績の資料No.1からですが、だいぶこの間から見たら進んでいると思います。ただ要望していて撮影していないというのが結構あるということです。こう見ますと、石鳩岡さんは半分、土沢さんは半分以下ということになっていますけれども、全部が可能かということになれば、もう最初からこれは難しいだろうなということになるとは思いますので、この点について協議するよりも、まず、どうしても入れたい演目というのが出てくるとは思いますので、こちらを協議した方がいいのかなという気がします。

今から20番、30番というのはなかなか難しい話になると思いますので、どうしても石鳩岡さんと土沢さんの方で入れたい、どうしてもこれは残したいという演目、それから撮れるかどうかということについてお聞きしたいのですが、菊池さん、いかがでしょうか。

(菊池委員)

石鳩岡神楽の菊池です。この資料の中で、今後やる演目が数演目。具体的には10月7・8日、鎌倉公演が入っています。鎌倉公演は2日間に渡ってほぼ違う演目をやるのですが、すでに撮り終わっている演目もその中に入っているという状態です。

鎌倉公演について、今ここの実績になっていないものについて、これからやろうとしている演目が、「裏三番叟」、それから「水神の舞」。「水神の舞」はもう撮り終わっている演目になっていますが、鎌倉でもやります。それから「鐘巻・道成寺」もやる予定です。一番下の「鞍馬の舞」も今年撮っています。それから2ページ目にいきまして、下の方で権現舞の下、「小兒舞」というのがありますが、これも鎌倉公演でやる予定です。進行状況としてはこんな感じですが、今日、控えを持ってきていないので、撮り終えているものがもしかして何演目かあるかもしれません。

(吉田委員)

ここの真ん中付近に「尊揃の舞・六月舞」と2ページ目の一番最後の「水無月」これは同じ演目です。

(菊池委員)

石鳩岡神楽は「水無月」としては存在しません。○がついていないからいいですが。

(吉田委員)

6月のことを水無月ですから、同じものです。

(佐々木係長)

失礼しました。ありがとうございます。

(菊池委員)

今後ぜひ撮りたいというものを、今リストアップしている最中です。我々の今の座中で撮っておきたいというのが数演目あるのですが、それはもう少しまとめて、できれば年内を目指してという形でいきたいと思っています。

(中村委員長)

それでは土沢の吉田さん、お願いします。

(吉田委員)

土沢神楽の吉田です。この資料の他に、5演目ぐらい今年撮っているかと思うんですけども、阿部さんに確認してよろしいですか。

(阿部所長)

「山の神」と「天降り」…

(吉田委員)

「天降り」はやっていないので、「女五穀舞」だと思います。あと、休みとなっていますが、真ん中より少し下に「悪魔退治の舞」とありますけれども、これはみちのく神楽大会でやったので、撮っているのかなと思います。阿部さんの確認を…休みではなくて大償流だけにあります。

あと1ページ目の一番下で「鞍馬の舞」がこの間、撮ったのかなと思います。2ページ目に行って、真ん中ぐらいにある「折敷枚・お式舞」とありますが、これも撮っていると思います。

資料をお配りしたいと思います。今、資料をお配りしてはいますが、表が資料No.1、裏は資料No.2ということになっていて、裏の資料No.2の方から見ていただきたいのですが、実は平成2年3月に県の文化振興事業団によりまして、1.奏楽から27.番神送り、それから普及版までと一度映像記録を撮っております。これは大体の演目なので、最悪の場合はこれがあるので、これ以外のものということで、反対側の資料No.1に最低限撮りたいというのがこのリストに出ています。

そのうち、二つぐらいは過去の映像があるので撮れなかったら、最悪はその資料を使うかということですが、とりあえず、ここに上げた9演目は撮りたいなということで考えていました。もちろんその他も機会があれば撮るということで、そういう方向でいきたいなと思っています。以上です。

(中村委員長)

わかりました。この過去映像ありでも撮りたいということですね。この裏が映像記録にあるので、もしかしたら27演目のうち、ちょっと外れても大丈夫だということですので、要望が出ております9つというのは1日では無理な収録だと思いますけど、それを入れると大体30前後ぐらいまでいくんですかね。石鳩岡神楽さんも希望として数演目あるということですので、大体30以上はいきますよね。

この43、44というのはなかなか難しいというのはわかりますし、実際には練習しないとなかなかできないものもあるとは思いますが、やはり実際に数字とすれば30数演目というのがいいところかなと私も思っていますので、こう

いう方向で両神楽さんの方で希望もあるようですので、それを何とか今年度ということで入れてしまいたいなと思います。

ところで鎌倉には阿部さんもついて行かれるのですか。

(阿部所長)

行きます。

(中村委員長)

それはご苦労様でございます。そういうことで撮影していただけるようですので、ここで数演目やって、残りは希望がある演目を入れて、何とか30ちょっとは行きたいなというところで、現実的な数字ではそんなところかなという気はしますけれども、阿部さんの方から何かありますか。

(阿部所長)

できれば大償と岳が通常やっているような演目をやっていただけないのかなという気がします。難しいものもあると思いますが、流派の伝統的にやっているものが、もしできるようであればいいのかなと思います。

(中村委員長)

通常やっているものというのは、どういう演目になるのですか。

(阿部所長)

できれば土沢さんは女舞を少し復活してというような意味です。隆一さん自身がやってくればいいのかなと。

(中村委員長)

そう言われてみれば確かに、いくつかは入れて欲しいなと思いますけれども、その辺も含めて女舞のところで「潮汲み」「苧環」「橋掛け」が入っていますので、ぜひこれにもう一つか二つ増やしてもらえれば一番いいのかなという気がします。

それで、これから実際何ヶ月もないですが、その中で、果たして何回か収録できる日が取れるのかどうかということになりますけれども、どうでしょうか。石鳩岡さんは鎌倉公演の後も何演目かあるので1から2回、土沢さんも最低でも2回は必要かなと思っていますが、これから秋の行事や祭りなどがたくさん増えてくる中で、日程的に可能なのでしょうか。

(菊池委員)

単独というのは別にいいのですが、土沢さんと合同で、これから日にちを決めてしまって、最低でも2回ぐらいは10・11・12月の残りの3か月で撮影できればいいのかなとは思っていますし、あと実際に公演が決まっているのが共通で11月3日の東和町の文化祭。この日、1演目ないし2演目。そこで新しい演目を最低でも一つ出していけば、一つでも減るかなと。決まっている公演的なものは石鳩岡にとってはそれが最後です。あとは土沢さんがあるかもわかりませんが、それ以外のところで相談してやっていけばいいのかなという感じです。

ちなみに石鳩岡の11月3日の一つは、「竜宮渡りの舞」を予定しています。

(吉田委員)

土沢でも11月3日に2演目を予定してまして、「天降りの舞」と「三韓の舞」その2演目は、3日に上演予定です。次の4日も大償流の星山神楽さんの何十周年だったかのお祝い行事がありますが、多分その時は同じ「三韓の舞」をやると思うので、それも3日の日に収録していただければということです。

土沢もそこで大体行事が終わりなので、あとは相談して合同か何かで、まとめて撮る方向で考えたいと思います。

(中村委員長)

そうすると、11月3日は確実に二つはやれるということですので、あとは、日にちを決めていただいて12月までの間に2回、何とか収録の日を決めて、ぜひ希望している演目だけは入れていきたいなと思っております。その点は阿部さんはよろしいですか。

(阿部所長)

はい。

(中村委員長)

中嶋さんは何にかご意見ございますか。

(中嶋副委員長)

無事に進みますように…

(中村委員長)

12月の頭までに撮れれば何とかあります。その後は阿部さん任せになってしまうんですけども。

大体方向はわかりました。ここに書いてある全部は難しいということも前提としてありますが、やはり少なくとも30数番は入れたいという希望があるようですので、最低でもそのように入れていただくというと、阿部さんの希望では岳・大償が普段やっている演目も是非ということですので、その辺も考えていただいて抜けているところも加えていただいて、11月3日を除いて2回くらい、合同でもできるように事務局と一緒に打ち合わせをしていただいて、何とか今年中に終わるようにお願いしたいなと思います。

(伊藤課長補佐)

場所はどちらかの公民館ですか。

(菊池委員)

石鳩岡の公民館でも大丈夫です。前にも一緒に記録を撮ったこともありますし。

(伊藤課長補佐)

では、その辺もよろしくお願いします。

(阿部所長)

土沢さんは来年の舞い初めはやりますか。

(吉田委員)

やる方向で検討中です。今までの会場は狭いので、どこか広いところを。

(阿部所長)

そこでも一つ二つご披露していただければ。連続して土沢さんだけだと大変でしょうから、ゲストを呼ぶとかして間の時間を入れながら。

(中村委員長)

舞い初めまでは大丈夫なのですね。

(阿部所長)

はい、大丈夫です。一応、習俗はまだ撮れないものもありますし、コロナでどうしても今までのような形ができなかったんです。特に民家でいろいろやるというのはできなかったのも、もしそういうものができるようならば、積極的に収録していきたいなと思っています。

(中村委員長)

習俗を忘れていましたけれども、習俗で撮ったほうがいいというものがありますか。

(阿部所長)

今年撮ったものはどうなんですか。春祈祷などは例年通りやったのですか。やはり、どこか省略されたところはあるのですか。

(菊池委員)

石鳩岡はやりました。久しぶりに例年通りにやりました。

(吉田委員)

土沢はご希望するところだけで、例年通りにはいかなかったですけども、土沢は門付けと春祈祷が一緒なので、それは撮っているということです。元旦祭とか年越祭は後で阿部さんに連絡して撮っていただくという形になるかと思います。それ以外の歳祝いや結婚披露宴などは依頼があつてのことなので、難しいかなと思います。「しんがく」だけは習俗かどうかはあれですが、これだけは撮りたいということで入れていました。そんなところですよ。

(中村委員長)

「しんがく」は習俗なのかな。「しんがく」は舞い初めのときにやっていないですか。

(菊池委員)

やっていないですね。ただ、昔の子供たちが多い頃は「しんがく」を習わせるというのがずっと続いていた頃は、舞い初めに参加してもらったりということがしばらくあったのですが、この頃は途切れたといった感じです。

実は今日は小山田保育園の年長さんグループが運動会で「しんがく」を披露しました。1回は教えに行つて、あとは保育園の先生たちが頑張つて教えて、今日披露してきたところです。「しんがく」のチャンスは子供たちに限つてはあるかなと思います。大人もいざとなればすぐにできるのですが。あとは岳の例大祭。その時にお通りに参加すれば、私たちも一緒に毎年やっています。

(阿部所長)

小山田の子供たちが出るやつ…あれではやったんですかね。

(菊池委員)

小山田の2月にやる後継者育成のやつですね。「しんがく」は子供たちではやっていません。保育園児がきてやっていました。

(阿部所長)

あそこではやることはないのですか。

(菊池委員)

後継者育成の中で、私たちがですか。

(阿部所長)

はい。

(菊池委員)

希望すればできます。

実は、私、後継者育成で神楽デビューしました。大人になってからでしたが、後継者だからいいだろうということで、40過ぎてから子供たちの中で石鳩岡神楽としてやったので、うまく言えばあの場で一つ演目というのは可能だと思います。

(阿部所長)

土沢さんはやりますか。

(吉田委員)

うちでは例大祭のお通りで、昔は子供たちが30数人の大行列でやっていたのですが、今はもう少子化と他の山車とかに行ってしまうと、子供の数が少ないので、今はやっていません。

ですので、大人がとりあえず舞台上で「しんがく」をやって、記録しようかなということにしています。

(阿部所長)

昔、舞い初めて見たような気がするのですが。

(吉田委員)

あとこれは、「おんたい舞」とかの後にも同じようなものがつくので、そっちの方だったかもしれないです。

(阿部所長)

もし、「おんたい舞」をやられた後にやっていただけるといいのかなと思います。

(吉田委員)

そこら辺は一応、目標として入れています。習俗としての子供たちの行列は撮れなかったということです。

(中村委員長)

習俗であれば、昔は土沢の祭りでたくさん出ていましたけどね。あの時はたくさん見たような気がしますけれども。

(菊池委員)

岳の例大祭と同じように、お通りで土沢さんの列の後に石鳩岡の列とかで別々に「しんがく」を何箇所かでやったことはあります。

(中村委員長)

そういう記憶が私にもありますけれども、相当前かもしれません。今は大人ばかりですよ。

習俗は、たぶん新築祝いとか歳祝いとかは難しいと思いますので、この辺は抜きにしても大体撮れるところは撮っているということですので、付け加える分がいくつかあるのであれば、そこで撮っていただくということですけども、年の初めまでは大丈夫そうですので、もし落とされたのがあれば、舞い初めで是非お願いしたいと思います。

舞い納めはやっているのですか。

(菊池委員)

石鳩岡はやっていないです。

(中村委員長)

そうですね。やはり舞い初めになるわけですね。

そういうことのようなので、実態的には11月3日の合同でやるのと、その後に2回くらい何とか今年中に入れていただくと。もし、それでも漏れたら、舞い初めの方で補ってもらうということで何とか演目を増やして、いい収録にしたいなと思います。阿部さんはそれでよろしいですか。

(阿部所長)

はい。あと一つは、今まで収録したものでも納得していないものがあれば、もう一度やるってことも可能だと思います。練習を積んで。増やすこともそうですが、伝承的にきちっとしたものを残したいという考えがあるならば、再録ということも可能だと思いますので、その辺は柔軟に対応します。本当に夜でも構わないので1演目、今日撮るから来てくれという形でもいいと思うんです。

無理に一回に5演目やるとか、公開するとかってということばかりではなくて自分たちの納得いく舞を収録したいという意味があれば、夜な夜な通いつけてもいいと思います。

昔、幸田神楽さんのときは1か月やりました。毎夜毎夜7時から9時まで公民館で収録しました。ですから、そういう経験もしていますので構いません。ぜひ良い記録を残していただいて、後継者に繋げていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(中村委員長)

阿部さんの力強いお言葉もありましたので、それに甘えて是非、いい収録をしていただきたいなというふうに思います。

中嶋さん、本当に何かありませんか。

(中嶋副委員長)

無事に進むように。

(中村委員長)

あとここで、これ以上何か決めることはありますか。

(佐々木係長)

本日、予定していた分につきましては、ここまでのところで演目の数がどうかとか具体的に30数個ということで見えてまいりましたので、あとは特に協議していただく事項は予定していません。

(阿部所長)

あと一ついいですか。今年度最後の事業ということで普及版を作らなくてはいけないわけです。一応40分ぐらいのものということなのですが、これは石鳩岡と土沢、別々がいいのか一緒がいいのか、そこはまずひとつはっきりしていきたいと思いますし、総合的な活動を表現しなくてはいけないのと、やはりPR的な内容にもなりますし、一応3月31日までに作らなくてはならないですけど、習俗的に言うと、例えば今年の春祈祷がどういうふうになるのかということもあったり、あと石鳩岡さんと土沢さんが舞い初めというのを毎年やっていますが、そういうものも含めて、演目収録は演目収録なのですが、習俗としてやっているのを捉えなくてはいけない部分が結構あると思います。本当に細かいことでもいいので自分たちは神楽として地域で活動しているというところを、一つ忘れずにお伝えいただければと思います。やっち

ゃたんだよねとかと言われると、これは大事だったなあと思うんですよ。どうしても普及版を作るときには、活動全般がわかるような内容にしたいと思っていますので、1年間通じてこのように神楽は地域と密着した活動をしていますというところを伝えていきたいなと思っていますので、一つどうぞよろしくお願いいたします。

(吉田委員)

その普及版についてですが、今はまだ具体的なお考えはまとまってはいないのですか。別々にするのか、一つにまとめるのか。

(伊藤課長補佐)

別々にお願いしたいのですが、阿部さんの作りやすいほうはどちらですか。

(阿部所長)

私は別々がいいと思います。一緒だとやはり神楽の伝承している地域も違いますし、それと考え方もある程度違いますし歴史が違いますから、別々の方がいいと思うので、できれば30分ぐらいずつのものがあればいいのかなど。結構、私、盛り込みすぎるので1時間くらいになることも多いんです。その辺は考え直して短めに作って、2本立てを見ても1時間くらいというような感じで。

できれば私の考え方ですと、そういうものを作ったときに、地域でご披露しながら神楽を見せるなんてことをやったら面白いだろうなと思います。

どちらでもいいですよ。

(吉田委員)

どちらでもいいですけど、ただ別々の時も最後の方に、石鳩岡神楽さんと土沢神楽さんの特徴みたいなものを神田竜浩さんにアドバイスいただいて、付け加えていただければいいかなと。その件は後で阿部さんと相談したいと思います。

一応、一緒の記録選択なのでそこら辺と、あと岳と大償のそのところを入れていただければいいかなと思います。

(阿部所長)

そうですね。いずれにしても、中嶋さんがいろいろ調査した結果もありますでしょうし、調査委員会の方で報告書も出していますから、それに基づいてある程度の輪郭は作っていきたいなと思っています。

(吉田委員)

一応そこで、もしよければそれを入れていただければ。

(阿部所長)

私はどちらかというと、学術報告書的な映像になりやすいんです。そうすると、あまりに固くなってしまうのかなと思っていました。

(吉田委員)

そこまで固くならないように、最後のところだけということをお願いします。

(阿部所長)

頑張ります。

(中村委員長)

まだダイジェスト版の話をしていなかったと思いますけれども、私も別々に作るものだとずっと思っていたので、一緒にするととても30分40分では収まりきれないし、どこか薄くなってしまうような気がします。やはり登場人物はずっと一緒の方が通りがいいので、それぞれ別で作った方がいいと思います。

吉田さんが何か要望があるようですから、その辺を含めて阿部さんと相談しながらやった方がいいと思います。

ダイジェストの場合は、あまり長いと見ないようです。なるべくなら30分とか40分の方がいいと思います。もっと詳しく見たいときには、もう一つの演目を撮ったものをちゃんと見てくださいますかみたいな方がいいと思いますので、いつもダイジェストの方が売れていって、演目の方が出ていかないというのはよくありますけども、ダイジェストは学校とかで見ってもらうときに、よくわかるように作ってもらえば本当はいいのかなと思います。小中学校に配りますよね。

(伊藤課長補佐)

市内の小中学校には配ります。あと県内の図書館全部にも配る予定です。その他、ここに送って欲しいみたいなのところがあれば、送ってほしいリストをいただければ、それも盛り込みます。

(中村委員長)

そういうことなので、ダイジェストの方は、基本的には二つの団体を別々に作るということで2枚組にすればいいんだと思うので、そうして作っていただくようお願いしたいと思います。

後は何か決めることありますか。

(佐々木係長)

大丈夫です。

(中村委員長)

それでは、ダイジェストの方も決まりましたし、演目の撮り方も大体今年中に、11月3日をはじめ、何回か撮るということで、あとは神楽の団体の方と阿部さんとで日程調整をしていただいて、決めていただきたいなというふうに思います。

30数演目入れば、私は十分記録になるのかなという気はしておりますので、その辺も含めて、いいものを残せるように頑張っていきたいなと思いますのでよろしくご協力のほどお願いしたいと思います。

(佐々木係長)

中村委員長、進行の方大変ありがとうございました。本日の調査会で諸々今後の演目の数など見えてまいりました。あと今年度、1回ないし2回調査委員会ということで、皆さんにお集まりいただいて、今年度の事業の中身ですとか、まとめになろうかと思いますがそういった部分の話し合いを正式な調査委員会ということで改めてご案内したいと思いますので、そこに向けてこれから撮っていただく演目など、調整しながら進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

次第4. その他ですけれども、事務局からは特にございませんが皆様から何かございますでしょうか？

(阿部所長)

普及版を作るにあたって、いろいろお話を直接聞くということがございますので、よろしくお願ひします。また、できれば監修していただく方に、お話を一言、どういう神楽なのかということをお話しいただければと思います。

(伊藤課長補佐)

それは撮影するということですか。

(阿部所長)

はい。まず台本をある程度作って、それに基づいてやりたいと思うので、委員会で確認していただいて、これは要らない、これは出してくれということをもまず1月ぐらいにできればいいのかなと思っております。ちょっと過密ですけど、やるしかないですよ。

(伊藤課長補佐)

普及版の中身については、文化庁の吉田さんも会議に呼んだところで、こういう感じの普及版を作りますがよろしいでしょうか？というような会議を1回開催しますので。

(佐々木係長)

他に皆様から何かございますでしょうか？

(菊池委員)

公演で一つ言い忘れていたのがありまして、石鳩岡神楽ですけども10月22日、成島の文化祭に呼ばれていまして、そこで1時間ぐらい石鳩岡の持ち分として神楽をやる予定になっております。演目は今のところ全く未定ですけども、去年も呼ばれて、またおかげさまで今年もぜひということで、10月22日の日曜日です。午前中9時か9時半ごろからだったと思いますけれども、その予定も入っています。

あとは記録が取れない分も当然出てくるので、お願いというか…あまり古いのは別としても、撮れなかった分をうちで持っている前の人たちの映像を今回織り込んでもらえれば非常に助かるなと思っています。

(阿部所長)

私が映像を持っていけばいいのですが、持ってないものもあると思いますから、提供していただけるならばコピーして、それを収めることは可能です。

誰が撮ったかはいいにしても、いつ、どういうところで撮ったかということが明確になっていけば大丈夫です。

(菊池委員)

人手がかかって、とてもこれからの練習では無理かな…でも残したいという演目がやはりあります。その辺は前の人たちのビデオを何とか活用して残したいなというのがあって、お願いできればなということです。

(阿部所長)

20年以上分があると思うのですが、私が持っているのは限界があると思いますが、石鳩岡さんでよく撮っていますよね。だからそういうのもあれば、土沢さんもそれでもいいと思います。

ただ、VHSで撮ったものは、元のテープは捨てられているんですよね。だから、復元はVHSしかないんです。ですので、古い時代に撮っているものがあれば出していただいて。少しは預かっているのですが、手をかける暇がありません。追々やります。

## (5) 閉 会

(佐々木係長)

ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和5年度記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 石鳩岡神楽・土沢神楽調査委員会の調査会を閉会いたします。本日は大変ありがとうございました。